



## ▼ ギガ GIGAスクール構想の実現

ICT教育の推進に積極的に取り組んできた多久市は、1人1台端末を早期に実現。授業だけでなく家庭学習などでも利用し、子どもたちの操作リテラシーを高めてきました。義務教育学校1年生からタブレットを活用し、学びを深めるとともに主体性や積極性を身につけています。日経BPによる公立学校情報化ランキング（義務教育学校部門）で多久市は2年連続2021年度、2022年度で全国1位になりました。



多久市立東原庠舍西渓校 前期課程教頭 千北 昌子さん

多久市ではクラウド上でデータ管理を行っているため、ペーパーレス化はもちろん、市内3校で教材や資料などを共有しているので、資料作成の時間短縮にもつながっています。さらに学校以外でもデータ管理ができることから、児童・生徒の学びの状態がいつでも把握でき、教員の働き方改革にもつながっています。



タブレットを触って  
体験できる授業が好きです。  
もっと活用法を勉強したい！

# 温 | 故 | 知 | 新

## ▼ 歴史を伝える 孔子の里ジュニアガイド

多久聖廟を訪れた人に、聖廟の歴史や孔子像、周辺の石碑の案内を行っている「孔子の里ジュニアガイド」の子どもたち。難しい言葉や論語もしっかり覚え、ふるさとの魅力を伝えるために笑顔でガイドをしています！



## ▼ 論語カルタで孔子の教えを学ぶ

多久聖廟に祀られている儒学の祖・孔子の教えである論語には、人としての在り方や生き方など人生の糧となる教訓が数多くあります。多久市では論語の素晴らしい教えを百人一首形式にした「論語カルタ」に興じつつ、幼少期から論語に親しんでいます。平成5年（1993年）に考案された「論語カルタ大会」は子どもから大人まで多くの参加者でにぎわいます。



## ▼ 帰宅放送で論語を紹介

夕方になると聞こえてくる帰宅放送。市内の子どもたちが「今月の論語」を紹介しています。繰り返し聞くことで、人生を導く教えが心に刻まれていきます。

